

令和元年9月10日

愛知県上海産業情報センター

林 秀 幸

## 一般調査報告書

### 開発が進む黄浦江西岸地区について

上海市の中心部を流れる黄浦江は、上海の市街地を東西に分ける大きな川（日本人的感覚からすれば大河）で、その流れは長江（揚子江）に注ぐ最後の支流となります。黄浦江の西側には歴史的な西洋建築群が立ち並ぶ外灘地区があり、かつての租界時代を偲ぶ景観が人気のエリアです。そして、対岸の浦東エリアは、超高層ビルが林立する新興都市エリアで、東方テレビ塔（東方明珠塔）や上海タワー（上海中心大廈）といったランドマーク的な観光名所に加え、ビジネスの分野では世界中の金融機関が集まる一大金融街が形成されています。

今回は、この黄浦江が最もにぎわいを見せる外灘・浦東エリアから川沿いに9kmほど遡った場所にある黄浦江西岸地区をご紹介します。

#### 1. 黄浦江西岸芸術公園

2010年の上海万博の会場跡地から、黄浦江を挟んだ対岸のエリア約950万㎡が、現在開発が進む黄浦江西岸地区です。上海市中心部における最後の未開発地区と呼ばれるこのエリアは、近年、現代美術のギャラリーや美術館が次々とオープンし、上海の現代アートシーンの牽引役として注目されていましたが、最近ではテクノロジーや商業の分野での開発が急ピッチで進んでおり、新たな都市機能を備えた最先端技術の集積エリアとして注目されています。

まず訪問したのは、この西岸地区の芸術公園に2019年3月にオープンした「TANK Shanghai (油罐芸術中心)」と呼ばれるアートスペースです。ここは元々、航空機燃料の貯蔵施設があった場所で、当時の燃料タンクがそのままの形でリノベーションされ、現在は展示スペースとして活用されています。今回はこのアートスペースを利用して期間限定で開催されているファーウェイ（華為）の西岸5G館と、アリババ（阿里巴巴）のA-MUSEUMを訪れました。

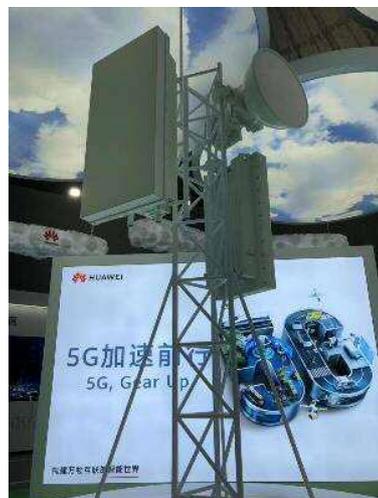
華為の5G館では、現在、国内各地で猛烈な勢いで整備が進められている5G通信の紹介展示が行われており、下図のような5Gアンテナの実物展示を中心に、今後5G通信が社会にもたらす変化とその影響分野について紹介されていました。

とくに教育の分野では、5Gを活用して中国全土を同時にカバーするリアルタイムの通信授業や教材の活用により、広大な国土における都市部と地方との

教育の地域格差を大きく是正する可能性があること、あるいは医療の分野では、救急患者の遠隔救命措置の技術革新により救命率が飛躍的に向上することなど、社会の様々な分野に5G技術がもたらすであろう革新的変化の、具体的な事例が紹介されていました。

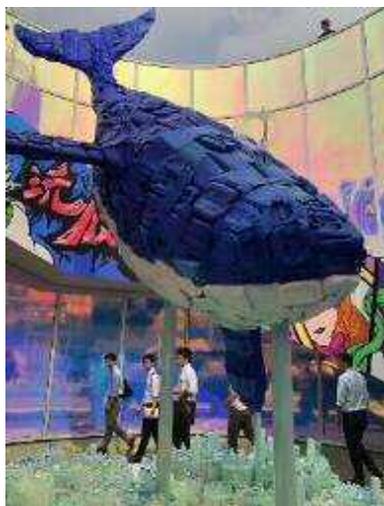


華為の西岸5G館



華為の5Gアンテナ

また、アリババの展示館 A-MUSEUMは、魔法の国をテーマにしたパビリオンになっており、中でも最新の顔認証技術を使った魔法の鏡の展示が人気で、鏡の前に立つと心理状態が表示され、その人がいま最も聞きたいと感じている音楽が流れるという仕掛けに大人も子供も楽しんでいました。



ペットボトルの海を泳ぐプラスチックの鯨  
(アリババ展示館)



アリババ展示館 A-MUSEUM

## 2. 上海西岸国際人工知能センター

次に訪れたのは、黄浦江西岸地区の最も核心的なエリア、西岸智慧谷と呼ばれるエリアです。このエリアの中心に現在建設が進められているのが、上海西岸国際人工知能センター（A Iタワー）です。

A Iタワーは下の完成予想図にあるように51階建てと39階建てのツインタワーで、ホテルや商業施設、オフィスなどが入居する、いわゆる都市部によくあ

るタイプの多機能型オフィスビルですが、このA I タワーを核とした黄浦江西岸地区の最も重要な位置づけは、このエリアから9 kmほど下流にある浦東エリアの補完的な役割を担うことが期待されている点です。



建設中のA I タワーから見た黄浦江西岸地区



A I タワーの完成予想図

上海市外国投資促進センターの説明によれば、この黄浦江西岸地区には、ファーウェイやアリババなどの人工知能分野の先進的大企業が入居する予定であるほか、浦東エリアの金融機能を補完する分野であるフィンテックやブロックチェーンといった最先端の金融テクノロジー技術に長けたスタートアップ企業の入居なども促進し、浦東と西岸の両エリアの棲み分けによる上海市の総合的な発展を目指しているということです。

建設中のビルのオフィスフロアには屋内用の5Gアンテナが既に標準装備されており、間もなく始まる5G通信の本格運用に備えた準備が着々と進んでいる様子を伺うこともできました。

今後も、さらなる発展が期待される黄浦江西岸地区の動向を注視していきたいと思えます。

上海産業情報センターでは、今後も中国の現地情報を提供して参ります。

本資料は、参考資料として情報提供を目的に作成したものです。

上海産業情報センターは資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力していますが、その正確性を保証するものではありません。本情報の採否は読者の判断で行ってください。

また、万一不利益を被る事態が生じても当センター及び愛知県等は責任を負うことができませんのでご了承ください。